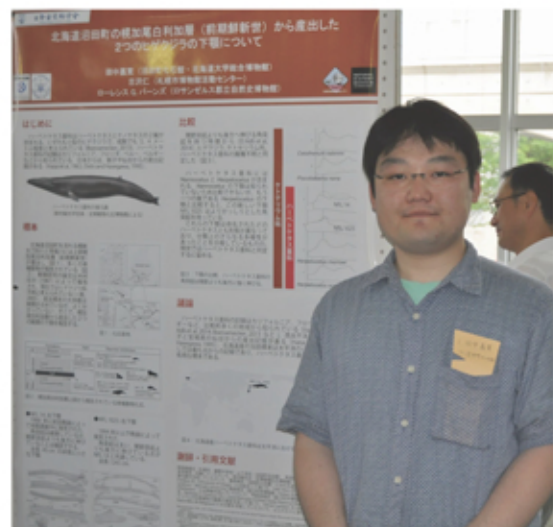




# 1. 沼田のクジラ化石の研究が 日本古生物学会で発表されました



1988, 94年に2つのクジラ化石が山下教諭（沼田町化石館）と前田教諭（札幌市）らによって発見されました。

2015年から研究を再開させ、2016年6月に正式に「今はいないタイプの小さなクジラである」と古生物学会で報告しました。

# 2. その最新の成果を展示でご紹介します！

## 特別展「沼田を泳いでいた 小さなクジラ」展

◆場所：ほろしん温泉ほたる館（ロビー）  
（沼田町化石体験館向かい）

無料です

◆期間：2016年7月23日（土）から  
8月31日（水）まで

### ◆関連普及事業◆

1. 学芸員によるオープニング解説（無料）  
日時：7月23日13時より（申し込み不要）  
場所：ほたる館ロビーにて
2. マークス博士の化石クジラトーク（ネット通信）  
および当館学芸員のクジラ研究の紹介  
日時：8月7日11時から13時まで  
場所：ほろしん温泉にて（スペシャルランチ付き）  
（英語通訳付き、要申し込み、定員30名、  
裏面下記電話まで）  
町民 大人1500円/小学生以下800円  
町外 大人2000円/中学生1800円/小学生以下1500円

沼田町化石館 平成28年度 特別展

### 「沼田を泳いでいた 小さなクジラ」展

シロナガスクジラ 30メートル  
小さなクジラ 4メートル

◆場所：ほろしん温泉ほたる館（ロビー）  
（沼田町化石体験館向かい）  
◆無料です  
◆期間：2016年7月23日（土）から  
8月31日（水）まで  
◆7月23日13時よりオープニング解説（無料）  
◆8月7日11時よりマークス博士の化石クジラトーク  
（通訳付き、要申し込み、下記電話まで）



マークス博士の専門家

# 3. 又マタネズミルカの研究で 再び成果がでました

2頭目の又マタネズミルカの存在が国際学術雑誌パレオントロジカルリサーチに掲載されました。沼田町からの論文出版は2000年の1頭目の又マタネズミルカ以来です。掲載誌や記録された又マタネズミルカは「化石体験館」で展示されています。是非、ご覧ください。町民のみなさんは無料で入館できます。



掲載された論文を読みたい方は田中まで御連絡ください。町図書館にも収蔵されています。

解説

## 新たな若い又マタネズミルカについて

学芸員 田中嘉寛

イルカなどの化石は1種に対して1標本しか知られていない場合が多いため、なかなかオスかメス、あるいは大人か子どもが判別できません。

沼田町から知られている又マタネズミルカ（学名：又マタフォッシナ ヤマシタアイ）は一島博士（福井県立恐竜博物館）や木村名誉館長（当館）らによって新属新種として記載されました。しかし、長らくその一頭しか知られていなかったため、又マタネズミルカの性別はおろか、大人子どもの違いすら分かりませんでした。

2015年、収蔵庫でイルカの耳骨が見つかりました。2頭目の又マタネズミルカで、1986年に発掘されたものでした。2頭目は1頭目比べて9割程度の大きさで、やや若い個体と推測されました。

今まで1つの点しか分らなかったものが、2つの点になると線を引く事ができます。さらに、新しい標本によって又マタネズミルカの独自の特徴がはっきりしてきました。やはり1標本よりは2標本あるほうが良いのです。又マタネズミルカは3頭目の存在も確認されているため、今後、より詳しく分かりそうです。

# 4. 企画展「復元の科学」が冊子になりました

好評の企画展「復元の科学」は化石体験館で11月3日まで開催します。

企画展の内容をまとめた冊子を公開しました。復元画や復元模型、イラストが沢山入った小冊子です。3Dをつかった新しい復元手法を紹介しています。是非ご覧ください！

また、これまで開催した展示のガイドブックも当館ホームページからダウンロードできます！

「沼田町化石館>化石館について>出版物」



## 7-8月 化石館の予定

- 7月23日 特別展オープニング
- 8月4日 クジラトーク
- 8月31日 特別展最終日

沼田町化石館だより 90号  
発行/沼田町化石館 編集/田中嘉寛  
〒078-2202 北海道雨竜郡沼田町南1条2丁目7-49  
電話/Fax 0164-35-1034  
メール/kaseki@guitar.ocn.ne.jp  
ホームページ  
<http://numata-kaseki.sakura.ne.jp/index.shtml>